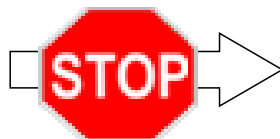


ゴールデンウィーク中の防疫対策を徹底して下さい！

新型コロナウイルス感染症に関して厳格な入国条件が見直され、海外からの渡航者の国内での動きが増加しています。

隣諸国での発生状況等からも、アフリカ豚熱(ASF)、口蹄疫(FMD)、鳥インフルエンザ(HPAI)等の侵入リスクは依然高い状況です。



飼養衛生管理者の研修動画をアップしています！随時更新中!!

URL <https://www.pref.tochigi.lg.jp/g66/eiseimovie.html>



自分の経営を守るため次の対応を徹底して下さい！

○海外渡航の自粛

ASF、FMD、HPAI 発生地域への渡航は可能な限り自粛すること。

○外国人技能実習生等への指導徹底

- ・日本に入国後一週間は、農場内に入れさせない。
- ・海外で使用した衣服、靴等は農場内に持ち込ませない。
- ・出身国の家族等から肉製品等を送付されないよう、実習生に指導する。

○衛生管理区域及び畜舎への病原体持込みの防止の再徹底

- ・畜舎専用の作業着への更衣、長靴の交換をおこなう。
- ・畜舎毎に手袋交換、手指の消毒を行う。
- ・畜舎に持ち込む物の消毒を行う。
- ・畜舎、防護柵、防鳥ネットの破損箇所を修繕する。
- ・農場内に関係者以外を立入らせず不要な物を持ち込ませない。
- ・農場及び畜舎出入口での車両や靴底の消毒を徹底する。
- ・除草や不要物の除去によりねずみ及び害虫を寄せ付けない。

○早期発見・早期届出の徹底

- ・決してワクチンを過信せず（豚熱）、毎日の健康観察を入念に行う。
- ・家畜に異状が認められた場合は、すぐに、かかりつけの獣医師または管轄の家畜保健衛生所へ連絡してください。